

第69回 伊是名中学校卒業式



自然と歴史が織りなす 尚円の里 伊是名島

今月号の主な内容

平成29年度 施政方針
村長へ提言（小学校）
中・小学校卒業式
ふるさとづくり実践活動

	伊是名	仲田	諸見	内花	勢理客	計	先月比
男	165	196	250	97	102	810人	▲2
女	144	201	170	84	106	705人	▲3
計	309	397	420	181	208	1,515人	▲5
世帯数	164	220	232	85	93	794	—

村の人口【計 1,515人】平成29年2月28日現在

平成29年
No.553

4

村のホームページ
<http://vill.izena.okinawa.jp>

平成29年度 施政方針



伊是名村長 義
前田 政

(中略)

I、はじめに

本日ここに、平成29年第1回伊是名村議会定例会の開会に当たり、提案申し上げます。各会計予算並びに諸議案の説明に先立ちまして、平成29年度の村政運営に臨む所信を申し述べ、議員各位をはじめ村民のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、村民の皆様から付託を頂き、村長就任以来、皆様のご支援ご協力を頂きながら、「明るく住みよい村づくり」実現に向け、諸事業を着実に推進することができましたことに、心から感謝申し上げます。

今後も引き続き、村づくり

の将来像である「歴史と自然、人が共生する」ときわのしま・伊是名」のキャッチフレーズの

とおり、本村の歴史性、自然性、人間性が三位一体となっ

て共生する、活気に満ちた村を目指して各施策を推進して参ります。村づくりの指針と

なる「第4次伊是名村総合計画」は、平成28年度で前期5年

が終了し、本年度からいよいよ後期5年が始まります。前期5年の課題を後期5年計画に反映させ、産業・福祉・保健・医療、教育・文化等に鋭意取

り組んで参ります。

それでは、平成29年度の主要施策につきまして、第4次総合計画で掲げた5つの基本目標に沿って、ご説明申し上げます。

II、平成29年度 主要施策

1 歴史に学び、自然を愛するしまづくり

本村は、琉球王国第二尚氏王統の始祖「尚円王」生誕の地であり、歴史・文化遺産の豊富な村です。また、二見ヶ浦

海岸などの自然海岸や伊是名山森林公園などの緑豊かな山

林、古民家が残る集落景観や田園風景といった自然環境や

歴史的景観を多く有しています。この伝統的な歴史文化や自然環境を保全し、次世代に継承していくために、次の施策を推進します。

策を推進します。

1 自然環境の保全

本村の自然景観と植物群は、類い希な特異性を持っており、その魅力ある自然や景観等を保全・活用し、人と自

然が共生する村づくりを推進

します。そのために、景観形成に有効な赤瓦屋根の新設や

葺き替えに要する経費の一部助成や景観形成活動を行って

いる各集落に活動費の助成を行うなど、地域と一体となつ

た魅力的な景観形成に取り組みます。

また、屋の下原海岸に群生しているウコンイソマツは、

貴重な海岸植物で、県内での生息箇所も限られている上、

絶滅の危惧に瀕している状況である。特に、屋の下原海岸の群生は大変珍しく、文化財に指定する価値があるとのことから、関係機関等と協議し

て、天然記念物指定に向けた取り組みを行い、その保全・保護を図って参ります。

保護を図って参ります。

2 歴史・文化の保全、継承

本村は、琉球王国第二尚氏王統の始祖「尚円王」の生誕地

として知られ、王家縁の工芸

品や古文書及び史跡等が数多く遺されています。村民が等

しく郷土文化に触れ、文化財への関心や意識を高めるとと

もに、その保護と活用が図られるよう地域文化の創造活動を推進し、文化財の発掘や調査、保全修理、施設整備に努

めます。そのため、文化財行政の充実を図る必要があります。

また、学芸員を新規採用し、みほそ所修復整備事業、伊是名玉御殿石段の整備等に着手するな

ど、さらに旧蔵品修復・復元整備に努めます。また、県指定有形民俗文化財である「伊

是名の神アサギ」及び「勢理客の神アサギ」の屋根茅等の腐食が著しく危険なため、修復

して保存継承を図ります。

して保存継承を図ります。

2 気質を誇り、うまんちゅの交流をしまづくり

恵まれた自然環境や歴史・文化、地域の特性等を活かした学校教育、社会教育、交流による学習などを推進し、子どもから大人まで楽しく学習できるしまづくりを目指します。

そのためには、未来を担う子ども達が夢と希望を持って、これからの人生を力強く歩んでいくことができるよう教育環境の充実を図ると共に、学校や家庭、地域住民と連携した、子どもから大人までを含めた生涯教育を推進します。

また、「モータースポーツ大会」等の大会を誘致し、交流人口の増加を図ります。

1 学校教育の充実

学校教育については、園児・児童・生徒の学習環境の充実を図るとともに、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育成することを目指し、学力の向上と島立ち教育を進め、地域に開かれた学校づくり及び本村の地域特性を活かした

幼・小・中連携教育「伊是名方式教育」を推進します。

学習指導要領の一部改正に基づき、全教師による指導体制を整え、学校や地域の実態に応じた年間指導計画を作成し、自他の生命を尊重する心「豊かな心」を育む道德教育の充実を図って参ります。学習環境の充実を図る観点から、学校の施設整備は避けられず、平成28年度小学校耐力度調査において耐震性不適と診断されたことを受け、小学校建設基本計画策定委員会を立ち上げ、より安全で快適な学習環境を提供することができよう進めて参ります。将来を担う子ども達が、日々通う学校施設は、一日の大半を過ごす学習の場であり、その安全性の確保は極めて重要であります。また、幼稚園園舎、学校給食センターも含めて取り組んで参ります。また、児童生徒の人育成並びに学力向上推進を図る観点から、小中学校における学習に遅れのある児童生徒への学習支援及び教育活動を支援する

ため、引き続き学習支援事業、児童生徒島外教育活動支援事業、グッジョブ連携推進事業、人材育成事業（日高小との交流）、地域学力向上支援事業、離島高校生就学支援事業、放課後子ども教室推進事業等を継続実施致します。

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、就学前教育の充実を図るため、幼稚園教育要領に基づき、「基本的生活習慣の形成」「遊びを通して総合的な指導の充実」等を推進し、また心の教育の充実、豊かな感性、人と関わる力の基礎、道徳性の芽生えなどを培うよう幼児教育を推進します。

2 社会教育・生涯教育の充実

国際化の進展及び情報化社会といった時代の変化に伴い、社会教育、生涯教育に対する村民ニーズも多様化しています。よって、いつでも、どこでも学ぶことができる生涯学習社会の実現を目指して、産業支援センターを拠点に各種

サークル活動（書道教室、英会話教室、歌声教室）、無料学習塾（尚円チャレンジ塾）を今後継続して参ります。

また、核家族化、共働き世帯の増加、地域の連帯感の希薄化など子どもを取り巻く環境が大きく変化し、生きていく上で基本となる生活習慣や規範意識、しつけ、倫理観、社会性の育成を身につけるため「家々なれ」運動を推進します。

3 スポーツ活動の充実

スポーツは、心身の健全な発達に資するとともに、明るく豊かな活力に満ちた生きがいのある社会の形成に役立つものであり、村民が健康を保持増進するため、それぞれが日常生活の中に自己の体力や年齢に応じて気軽にスポーツを楽しむことのできるスポーツ環境づくりを推進します。

4 交流と連携の充実

本村は、5つの集落から成り、それぞれが地域の特色を持ち、豊かなコミュニティ

を形成しています。今後も豊かな地域コミュニティを維持しながら交流・連携を促進します。

昭和63年度からスタートした「いぜん88トライアスロン大会」は、村全体が活気溢れるスポーツ交流イベントとして定着し、今回で30回目の節目を迎えることから、記念大会に相応しい、充実した取り組みを図って参ります。

また、平成19年度からスタートした県外修学旅行生による「民泊宿泊交流体験事業」も軌道に乗り、順調に推移しております。観光産業の更なる発展を図るため、引き続き、いぜん島観光協会と連携を図り、交流事業の推進に努めます。

3 人にやさしく、健やかに暮らせるしまづくり

本村は離島村であり、医療・福祉対策は、重要な課題の一つと言えます。また、少子高齢化の傾向は避けられず、本村の高齢化率は、全国及び沖

縄県より高い水準で推移しており、今後も高齢化は進行していくと予測されます。

よって、高齢者福祉への対応は、重要な課題であります。そのため、「伊是名村地域保健福祉計画」に基づき、医療・福祉施設の充実や地域コミュニティづくりへの支援等を推進するとともに、地域の人々がそれぞれに支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる「人にやさしく、健やかに暮らせるしまづくり」を目指します。

1 高齢者福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活できるよう「伊是名村老人保健福祉計画」に基づいた高齢者福祉の推進を図りながら、高齢者が必要とする福祉サービスを提供することができ体制づくりを進めます。

なお、特別養護老人ホームチデン園において、利用者の増加、要介護者が病気になるなどの家族介護が厳しい場合の受け入れ、家族介護者が

島外に出る場合の受け入れ等、それらの要望に対応するため、ショートステイ病床の増設を計画していることから、村として支援して参ります。

2 障がい者福祉の充実

障がい者が安全かつ快適に生活ができ、自らの意思で社会活動に参加することができるようしまづくりが重要であり、福祉・保健・医療などの様々な分野との連携や地域住民との協力が必要となります。そのため、第四次障がい者保健福祉計画に基づき諸施策を推進します。

3 児童・母子福祉の充実

就学前の児童がのびのびと健やかに育つには、保護者が安心して働き、生活する環境づくりが重要となっています。そのため、子育て世代の親が仕事と両立できるよう、保育サービスの充実を図るとともに「伊是名村後期次世代育成支援行動計画」に基づいた施策を展開します。

4 保健・医療の充実

健康で安心して生活できることは、住民の誰もが願うことであり、この実現には、住民一人ひとりが健康を維持できるよう支援を行うことが求められています。そのため、保健センターを拠点とした住民健診や健康づくり運動の充実、インフルエンザなどの感染症対策などを推進します。

5 消防・救急体制の整備

消防体制については、火災や水難事故等の緊急時の迅速な対応をするため、防火意識の高揚や消防団員の育成強化を図り、消防・救急・救助体制を強化します。

また、伊是名村地域防災計画に基づき、引き続き、村民の生命、身体及び財産を保護する立場から、防災行政の整備推進を図ります。

6 環境対策の推進

大量消費型の現代社会において、排出されるごみも多様化し、ごみ処理については依然として厳しい状況下にあります。

ます。本村も例外ではなく、村内での処理ができない品目については、不法投棄の要因となり、環境悪化を招いている状況下にあります。こうした課題に的確に対処するため、村民の理解と協力を得て、廃棄物の発生の抑制、再利用、再生利用といった3R行動の促進及び適正な処理を推進し、環境に優しい「循環型社会」の実現を目指して参ります。

なお、昨年度、地域資源リサイクル施設に導入した大型の木材破砕機は、木材チップを生産しており、畜産農家への敷き材としての活用、堆肥原料の一つとして耕作地への利用及び植栽マスへの利用等に大いに活用されるものと期待しております。

また、本年度も、村民のご理解と協力のもと、村内一斉清掃を年5回程度実施し、環境美化に努めて参ります。

4 豊かな生活と活力あふれるしまづくり

本村は、良好な自然環境を有しており、これらを活用した農林水産業や観光業等の産業が展開されています。

よって、豊かな自然環境の保全や各種産業、基盤整備を進め、村民が安定した生活と活力あふれるしまづくりを目指します。

1 交通体系の整備

① 道路網の整備

道路網の整備については、住民の安全性、利便性及び快適性を第一にとらえ、引き続き社会資本整備総合交付金事業により、村道チマイ線及び南風原線の整備、沖縄振興公共投資交付金事業により村道チデン線の整備を実施して参ります。また、道路の長寿命化及び安全確保の観点から総点検を行い、道路体系網の充実を進めて参ります。

また、伊平屋・伊是名架橋建設については、両村民が一体となって機運を高めることは勿論、関係機関等への要請等を継続的に実施するなど、

事業化推進活動を積極的に展開して参ります。

② 海上交通の確立

本村と沖縄本島を結ぶ海上交通手段として、「フェリーいぜな尚円」が1日2便運航しております。今後も、航路事業の健全運営を目指して参ります。

荒天時の仲田港における係留・停泊ができない場合の仲田港補完バースの整備については、調査業務及び実施設計業務が完了し、伊是名漁港勢理客地区において、いよいよ本年度から岸壁の施工が開始されます。工事については、県代行事業として北部農林水産振興センターが行って参りますが、地域住民及び漁民の皆様と連携し、早期の完了に向けて取り組んで参ります。整備完了後は、仲田港の港内事情による欠航が改善され、運航の円滑化・効率化が図られるなど、村民はじめ、観光客等の利便性に寄与することができると期待するところであります。

2 上下道の整備

① 簡易水道事業の整備

簡易水道事業については、施設の利用率は高いものの有収率が低く、収益に繋がっていないと言う課題があり、その打開策として、水道事業広域化に合わせ、老朽化した管路の更新を平成30年度から国庫補助事業を導入し、実施する予定であります。そのために、必要な事業の事前評価を平成29年度において実施致します。

また、平成32年度の水道事業広域化に向けて、引き続き県と連携し進めて参ります。

② 農業集落排水施設の整備

本村の農業集落排水施設は、整備から20数年が経過し、老朽化に伴う劣化が顕著に現れており、機能強化対策による施設更新が必要となっております。そのため、既存施設の整理統合を前提とした機能診断調査を踏まえ、伊是名地区と勢理客地区を統合した伊是名西部地区の事業化に着手します。

今年度は、管路敷設工事及び処理施設の実施設計業務を行い、環境負荷の低減及び生活環境の向上を図って参ります。

3 農林業の振興

農業は本村経済の中核となる基幹産業であり、さとうきびや水稻に加え、野菜や果樹等の生産が営まれています。昨年に引き続き、台風等の被害が少なかったため、さとうきびの生育が非常に良く、製糖工場の操業も安定しており、農家所得の向上が図られております。

しかしながら、農業を取り巻く環境は、依然厳しい状況にあり、農業生産振興のために、今後も引き続き、堆肥の導入事業を始めとする農業振興政策を実施して参ります。

なお、農業の担い手の高齢化や後継者不足も深刻となっており、引き続き新規就農者の確保を目的に、青年就農交付金を活用し、農業の担い手確保を図って参ります。

また、新たな取り組みとし

て、遊休化している鉄骨ハウスを利用した植物工場の整備事業を推進し、本村の新たな特産品創出に活用できるように進めて参ります。

4 水産業の振興

本村は海に囲まれており、恵まれた漁業環境にあります。中でも、基幹漁業であるモズク養殖は、県下でも有数の産地として知られ、高い水揚げ量を誇っています。また、近年では海ぶどうの養殖を行うなど、新たな品目の生産に取り組んでいます。しかしながら、漁家所得の不安定及び組合経営の悪化等、本村の漁業を取り巻く環境は、厳しいものがあります。伊是名漁業協同組合が策定する「浜の活力再生プラン」のもと、漁業組合と連携を強化し、水産業の振興に力を入れて参ります。

また、藻類協議会を発足し、モズク等の拠点産地として認定されるよう取り組み、水産業の振興発展に寄与して参ります。

5 商工業の振興

本村には大型企業はなく、大半が小規模零細企業となっています。また、大型商業施設もなく、JAスーパー、共同売店及び個人経営の商店での買い物となっており、このような店舗が地域コミュニティの活性化に繋がっています。そのため、小規模ながらも村経済の活性化にとつては重要な役割を担う産業であることから、村商工会と連携を図り、自立発展にむけた施策を推進します。

6 観光産業の振興

本村は、豊かな自然環境や歴史文化資源など数多くの資源を有しています。また、修学旅行生による民泊体験型交流学習が盛んに実施されています。このため、恵まれた自然環境や歴史文化資源等を保全しながら活用を図り、農林水産業と連携した観光産業の振興を推進します。

なお、伊是名山森林公園については、修学旅行生等の利用が多く、安全面からも再整備

が必要であるとの村民からの要望がございます。今年度から再整備に向けた実施設計業務を行い、利用される皆様の利便性向上を図って参ります。

Ⅶ 効率的な行財政運営

本村の財政状況は、歳入面では自主財源の柱である村税収入の歳入総額に占める割合が低い状況にあり、地方交付税や国庫支出金に大きく依存した構造になっています。今後、ふるさと納税制度の積極的な推進に努めると共に、貴重な自主財源である村税の徴収率の向上は、極めて重要であります。厳しい経済状況の中で、やりくりしながら村税を完納して頂いている方々の納税意識を削ぐことなく、公平・公正な賦課と自主財源の確保に努めて参ります。

なお、ふるさと納税については、昨年度から「いぜん島観光協会」に業務委託し、ネット申し込みの導入を図ったことや村郷友会の積極的な取り組みにより、大幅に伸びております。

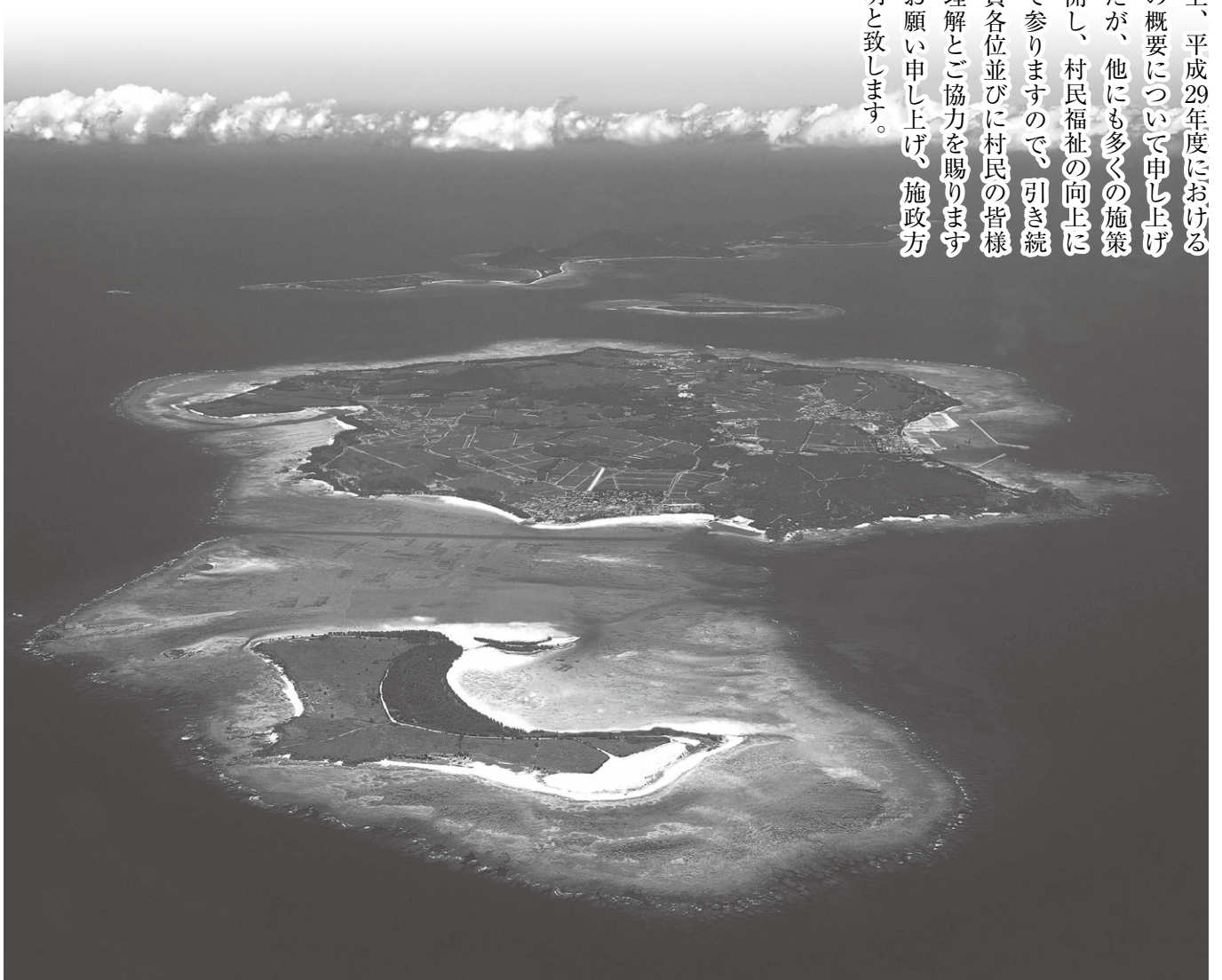
将来にわたり、持続可能な行財政運営を行うことは、自治体としての責務であり、将来に希望が広がる施策を展開していけるよう、歳入確保及び歳出削減に努め、財政の健全化に取り組んで参ります。

5 結いの心で支える 協働のしまづくり

本村は、5つの集落から成り立っており、それぞれの集落では豊かなコミュニティが形成されています。より良い住民生活の住環境の質を高めるためには、住民と行政、地域間のコミュニティが一体となった協働のしまづくりが必要であることから、住民と行政が、それぞれの立場で支えながら取り組んでいかなければなりません。

よって、住民への情報公開等を推進すると共に、広く住民の意見等を反映させるため「行政懇談会」を開催し、住民一人ひとりが、しまづくりに主体的に参加できるよう取り組んで参ります。

以上、平成29年度における施策の概要について申し上げますが、他にも多くの施策を展開し、村民福祉の向上に努めて参りますので、引き続き議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。施政方針説明と致します。



沖縄離島体験交流報告と 前田村長への 提言発表会

3月8日(水)



伊是名小学校5年生が、前田村長への提言発表会を行いました。
5年生は、昨年7月26日から7月29日(3泊4日)の日程で沖縄離島体験交流に行ってきました。1日目は、糸満青少年自然の家にて、4離島(伊是名、南大東、与那国、西表)7校51名の5年生が、池田卓氏の講演会や夢づくりワークショップ等で交流しました。翌日から宮古島の池間島へ行き、サバニ体験、カツオ燻製体験、民泊体験

等を通して、池間島での体験学習や交流学習を行いました。その池間島で体験交流学習してきた活動報告と「将来、自分が伊是名島のためにできること、したいこと」と題して、村長へ提言を行いました。
前田村長からは、「池間島での体験交流活動を上手くまとめて報告ができましたね。皆さんから頂いた提言書をしっかりと確認し、村政にいかしていききたい。」と、児童の提言を受け止めました。

村長への提言

「伊是名島の自然を生かして」

(代表) 小学5年生 伊禮沙耶

私は、伊是名島の自然を生かした企画・行事を続けてほしいと思います。トライアスロンや今年初めて行われたマラソン大会も伊是名島のきれいな景色を見てもらう事ができたと思います。トライアスロンでは、きれいな海で泳いでもらい、マラソン大会では、山や島のきれいな空気をはだで感じ、伊是名島の魅力を伝えられたらと思います。きれいな自然をこれからも楽しんでもらうために海岸清掃、道ばたのゴミ拾いを自ら進んで行い、伊是名島のきれいな自然を残して、観光客やトライアスリートの皆さんに楽しんでもらいたいです。そうすれば、伊是名島の自然を生かした企画・行事を続けていくことができると思います。

このような行事で全国の皆さんに伊是名島の良さや魅力を知ってもらい、はだで感じてほしいです。



代表して村長に提言書を手渡す、新城勇人君

認知症見回り協定

3月9日(木)

本部警察署大城剛署長が、前田村長を訪れ、認知症高齢者等見守り活動事業に係る協定を締結しました。認知症高齢者等の増加が見込まれる中、認知症高齢者等とその家族等が安心して暮らせる社会づくりのため、地域における認知症への理解の促進を図るとともに、地域全体の見守り態勢を構築していくこととします。



海邦丸五世

3月5日(日)

旧仲田港バースにおいて、沖縄県立沖縄水産高等学校の実習船「海邦丸五世」の一般公開が行われました。訪れた多くの村民は、船内を熱心に見学していました。

本船は、船内LANを構築し、衛星回線を使用したインターネットができるなど、最新のIT関連機器をはじめ、航海計器、漁業設備、海洋観測機器等を装備した漁業実習船です。



上原 耕一 名嘉 海 潮平 裕作

潮平 裕作 (機関科)

今、頑張っていることは、資格をたくさんとる事を目標に頑張っています。将来は、船関係の仕事に就きたいと思っています。

名嘉 海 (機関科)

頑張っていることは、資格をとって卒業する事です。将来は、島のフェリーで働きたいと思っています。

上原 耕一 (船長科)

今、たくさんの資格を取る為に勉強を頑張っています。将来は、沖縄本島と島をつなぐフェリーで働きたいと思っています。

受験で餅のように粘り強い力を 発揮できますように・・・3/7火



高校受験**全員合格**しました!!



JA伊是名支店女性部では、高校受験を控えた中学生に「餅たっぶりのぜんざい」を贈りました。「必勝合格・頑張れ受験生!!」と生徒一人ひとりにエールを送りながらぜんざいを手渡し、受験生を激励しました。



ふるさとづくり実践活動 in伊是名

河井克行内閣総理大臣補佐官とふるさとづくり実践活動チームのメンバーが、「ふるさとづくり実践活動」を実施するため、伊是名村を訪れました。

この活動は、まちづくり活動に積極的に取り組む組織と意見交換を行い、今後に活かすことを目的に開催されました。河井補佐官らメンバーは、伊是名集落を視察した後、伊是名公民館で村民代表者を交えてパネルディスカッションを実施しました。委員から伊是名のしまづくりについて貴重な意見が出ました。



河井補佐官ご一行を案内する、村民ガイド。

3/8(水)

伊是名中学校 第69回 卒業式

3月11日(土)

～皆様に感謝し前進します!!～



ゆう き **結輝**
 【旅立ちのことば】
 ～固い絆で結ばれた仲間、
 永遠の輝きに満ちた未来へ進み続ける～

特別表彰
 9か年皆出席賞…島袋 龍騎君とご両親

伊是名中学校(与那覇了校長)において、保護者や先生方、地域の方々に祝福される中、卒業生16名が卒業の日を迎えました。卒業生ひとりひとりに卒業証書が渡されたあと、与那覇校長が「多くの人に感謝して新たな旅に出ましょう」と卒業生を激励しました。関係者からの祝辞、あいさつを受け卒業生を代表し、東江開道君は「島立の不安とみんなとの別れ、寂しさを感じています。お父さんお母さん、今日まで育ててくれてありがとうございます。仲間との強い絆を信じ、希望を胸いっぱいにくぐらませ、歩んでいきます。」と、時折、声を詰まらせながら答辞を述べました。



小学校卒業式

3月17日(金)

「まっすぐ前を見つめ、新たなスタート」

伊是名小学校(座間味靖校長)において、平成28年度卒業式が行われました。会場の温かい手拍子に包まれて、にこやかに11名の卒業生が登場しました。座間味校長から卒業証書が一人ひとりに手渡され、その後、それぞれの夢や小学校生活の思い出、ここまで育ててくれたご両親に対する感謝を伝えていました。

座間味校長は「知・徳・体のめあて・目標達成、そして将来の夢が実現できるよう、決めたことを継続して取り組む『未来を拓く夢ファイル』を、十五の島立の時に、なりたい自分になれるように、希望する高校に進学できるように、続けて下さい。」と、式辞を述べました。式典の最後に、別れの歌「ビリーブ」を会場にいる全員で合唱し、卒業生は大きな拍手で見送られました。

特別表彰

六年間ランドセルを大切に使い続けたとして、卒業生11名全員が『ランドセル賞』を受賞しました。



幼稚園修了式

伊是名村立幼稚園において、修了式が行われ、これまで楽しく遊んだ思い出を胸に、修了証書を受け取りました。

3月15日(水)



平成29年度伊是名村育英基金貸与奨学生の募集について

1. 応募資格

- (1) 伊是名村に5年以上引き続き住所を有する者、若しくは本村に5年以上住所を有していた者で、
修学のため村外に住所を変更したもの又は本村に本籍を有する者
- (2) 専門学校、高等学校、短期大学、大学又は大学院に在学している者
- (3) 学業成績及び素行が優良で、かつ、心身ともに健康である者で、学校長の推薦のあるもの
- (4) 他の団体から奨学金の貸与又は給与を受けていない者

2. 採用予定人数:4名

3. 申請書類

- ①貸与生申請書(様式第1号) ②貸与生推薦書(様式第2号) ③奨学金貸与状況証明書(別紙1)
 - ④在学証明書 ※4月時点での在学する学校 ⑤成績証明書 ※3月まで在学していた学校
 - ⑥戸籍抄本 ⑦住民票謄本 ⑧保護者の納税証明書(住民税、固定資産税、国保税)
 - ⑨本人の属する世帯の所得証明書 ⑩保護者の村営住宅及び水道、集落排水使用料納付証明書
- ※様式第1号、様式第2号、別紙1は、伊是名村教育委員会窓口にて請求ください。

4. 募集期間:平成29年4月1日～4月28日(金)まで(郵送の場合も4月28日必着)

《お問い合わせ先》伊是名村教育委員会 育英基金担当 ☎0980-45-2318

平成29年度在沖縄米軍施設・区域内大学(基地内大学)就学者の募集について

沖縄県国際交流・人材育成財団では、国際化時代に対応ができ、かつ本県の振興を担う人材の育成を図るため、本県にある米軍施設・区域内大学への就学希望者を募集します。

- 1 大 学 名: メリーランド大学他3大学で、短期大学、大学、大学院、
そして、ブリッジプログラム(語学研修講座)
- 2 募 集 人 数: 70人程度
- 3 募 集 期 間: 平成29年4月3日(月)～4月28日(金) 17:00まで
郵送の場合、4月28日(金)消印有効
- 4 受 験 料: 6,500円(基準点を満たす各公式スコアをお持ちの方)
10,500円(基準点を満たす各公式スコアをお持ちでない方)
- 5 選 考 試 験: 第一次選考試験(TOEFL-ITP) 5月13日(土)
第二次選考試験(面接) 6月中旬
- 6 募 集 要 項: 当財団ホームページよりダウンロード(<http://www.oihf.or.jp/>)
- 7 お問い合わせ先: (公財)沖縄県国際交流・人材育成財団 電話(098) 942-9213



平成29年度 広報いぜな購読料について

期間 平成29年4月号～平成30年3月号(年間分) **金額** 1,000円

広報いぜなをご愛読いただき、ありがとうございます。

広報いぜな4月号に納付書を同封しましたので、お近くの郵便局にてお支払いいただきますようお願いいたします。

※5月末までにお支払が確認できない場合は、郵送が止まることがあります。

お問い合わせ: 役場総務課 ☎0980-45-2001

危険物取扱者試験のご案内

- ☆試験日 平成29年6月4日(日)
- ☆試験種類 甲種、乙種(第1類～第6類)、丙種
- ☆願書受付期間 平成29年4月14日(金)～4月21日(金)
- ☆試験会場 北部農林高等学校、琉球大学、南部農林高等学校
宮古工業高等学校、八重山農林高等学校
- ☆願書配布先 各消防本部予防課、県宮古事務所総務課、
県八重山事務所総務課、消防試験研究センター沖縄県支部
※電子申請できます。ホームページをご覧ください!! <http://www.shoubo-shiken.or.jp>
- 【願書提出先・お問合せ先】(一財)消防試験研究センター沖縄県支部
〒900-0029 那覇市旭町116-37自治会館6階 TEL:098-941-5201



わくわく広場

3月開催の「ひな祭り会」で、たくさんの親子が参加してくれました。折り紙を使ったひな人形づくりでは、お母さんも子供たちもとても楽しそうに作業していました。読み聞かせや母子保健推進員さんの手作りのおやつもあり、素敵なひな祭り会となりました。

今回でわくわく親子デーを卒業する子に表彰を行いました。

.....
 次回のわくわく親子デーは6月からスタート

お問い合わせ 保健センター ☎0980-45-2137



多世代参加型グラウンドゴルフ大会(第1回)のご案内

伊是名村郷友会は、今年の新年会で青年部を発足し、持続的な維持・継承発展と担い手を育成する新たなスタートの年となりました。「ふるさと伊是名も郷友会も永遠なり」と願いつつ、次代を担う若者たちが参加し易い事業運営も工夫しております。

10代～90代までの老若男女で賑わいのある大会にしたいと考えております。興味のあるかは、下記までご連絡ください。



日時 平成29年5月28日(日)

場所 西原町 東崎「多目的」運動公園
(マリンタウン地区)

お問合せ 伊是名村郷友会
☎090-1947-6528(会長 比嘉一幸)

春の全国交通安全運動

4月10日(月)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

平成29年4月6日(木)～平成29年4月15日(土)

平成29年交通安全年輪スローガン沖縄県応募作品 (関南小学校 坂元 月華 さん)

「青信号 しっかりかくにん わたろうね!!」



運動の基本 子供と高齢者の交通事故防止～事故にあわない、おこさない～
 全国重点 ●歩行者：自動車等乗用中の交通事故防止(自動車・バイク等には、特に自動車安全利用法(安全運転)の徹底)
 ●後方視界を確保した全ての乗用車のシートベルトとチャイルドシートの正しい(適正)の着用 ●二輪車の安全運転
 地域重点 ●二輪車の交通事故防止(特に、若年者を含めたマナーアップの推進)



沖縄県・沖縄県交通安全推進協議会

島ぜんぶでおーきな祭 沖縄国際映画祭

3/9(木)

「島ぜんぶでおーきな祭 沖縄国際映画祭」の関係者一行が、前田村長を表敬訪問されました。沖縄国際映画祭実行委員長の大崎氏は、4月に開催する沖縄国際映画祭が、10年の節目を迎える。映画祭は島ぜんぶを巻き込む、島ぜんぶでおーきな祭としてこれからも開催していきたいと村への協力のご意向を述べ、前田村長は「映画祭が10年の節目を迎える。この『大きな祭』を村をあげて一緒に盛り上げていきたい」と方針を述べました。

映画祭は、4月20日(木)～4月23日(日)の期間で開催を予定しています。メイン会場は、波の上のみそら公園(那覇市)となっております。



農業の神様へ

2/27(旧暦2/2)

トートク

土帝君祭祀が、関係者参列のもと勢理客川口原(字勢理客)と諸見屋部(字諸見、字内花、字仲田合同)の高台にある祠で行われました。区の班長が準備したお供え物が土帝君祠に並べられ、今年の豊年豊作を祈願しました。



【土帝君】農業の神様、稲の神様ということで水田を見渡せる地に唐(中国大陆)から伝わったとされ、祠には3体の像が安置されています。

県産海ぶどう品評会、伊是名漁協 優秀賞!!

2/21
(火)

沖縄県農林水産部水産課主催の沖縄県海ぶどう品評会が、那覇市ぶんかテンプス館で行われ、伊是名漁協の海ぶどうが優秀賞に選ばれました。

品評会は、今回から初めて「持続的漁業生産拡大のためのマーケティング支援事業」の一環として開催され、沖縄産「海ぶどう」の品質向上や衛生管理の推進により、適切な市場評価の形成を図ると共に、生産者の意欲を促進し、消費者への高品質な沖縄産「海ぶどう」の提供と認知度向上を図ることが目的として実施されました。



島の暦 4~5月の行事予定

- 4/2(日)・公事清明祭(クージシーミー)
- 3(月)・保育所入所式・教職員歓迎会
- 7(金)・中学校入学式・小中学校1学期始業式
- 10(月)・小学校入学式
- 11(火)・幼稚園入園式
- 15(土)・村一斉清掃
- 22(土)・伊是名村環境プロジェクト・ドラッグレース(～23日)
- 25(火)・伊是名村環境の日
- 5/9(火)・特定健診(伊是名区・内花区)
- 10(水)・特定健診(仲田区・勢理客区)
- 11(木)・特定健診(諸見区)
- 12(金)・婦人科健診
- 15(月)・伊是名村観光の日
- 27(土)・やんばる駅伝競走(伊平屋島大会)
- 28(日)・グラウンドゴルフ大会(郷友会)
- 29(月)・ユッカヌヒー(海神祭)

平成29年度 村民カレンダー販売中!!

昨年は、村内の各戸へ配布していましたが、今年度から販売のみとなります。商工観光課窓口で販売しており、在庫に限りがありますので、お早めに購入ください。

1部 500円
(限定1000部)

※島外のご購入希望の方は、商工観光課にお問い合わせください。

☎0980-45-2534



我が家のニューフェイスです。よろしくね

伊 禮 波 ちゃん(二女)

平成29年3月1日生 父: 敬 母: 絵末